平成31年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月５日

上場会社名　　あすか製薬株式会社　　上場取引所　東

コード番号　　4514　　ＵＲＬ　http://www.aska-pharma.co.jp/

代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山口　隆

問合せ先責任者　（役職名）経営企画部長　　（氏名）長尾　智仁　　ＴＥＬ　03-5484-8366

四半期報告書提出予定日　　平成30年11月９日　　配当支払開始予定日　平成30年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成31年３月期第２四半期の連結業績（平成30年４月１日～平成30年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年３月期第２四半期	23,477	△6.3	960	△48.7	1,078	△45.9	743	△54.7
30年３月期第２四半期	25,054	3.0	1,872	40.5	1,993	36.9	1,643	28.8

（注）包括利益　31年３月期第２四半期　1,364百万円（△46.7%）　30年３月期第２四半期　2,559百万円（112.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年３月期第２四半期	26.36	―
30年３月期第２四半期	58.35	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年３月期第２四半期	82,836	43,783	52.9
30年３月期	66,235	42,559	64.3

（参考）自己資本　31年３月期第２四半期　43,783百万円　30年３月期　42,559百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年３月期	―	7.00	―	7.00	14.00
31年３月期	―	7.00			
31年３月期（予想）			―	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成31年３月期の連結業績予想（平成30年４月１日～平成31年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	0.1	1,000	△64.6	1,200	△61.0	1,000	△58.1	35.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年３月期２Ｑ	30,563,199株	30年３月期	30,563,199株
②　期末自己株式数	31年３月期２Ｑ	2,324,342株	30年３月期	2,372,342株
③　期中平均株式数（四半期累計）	31年３月期２Ｑ	28,204,571株	30年３月期２Ｑ	28,157,045株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
３．補足情報 …… 10
（１）主力品の売上高 …… 10
（２）臨床開発状況 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における売上高は、薬価改定の影響等により、234億７千７百万円（前年同期比6.3%減）となりました。利益面につきましては、減収による売上総利益の減少に加え、研究開発費が増加したこと等により、営業利益９億６千万円（前年同期比48.7%減）、経常利益10億７千８百万円（前年同期比45.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益７億４千３百万円（前年同期比54.7%減）といずれも減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」や、平成28年11月に発売した難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」等の売上が拡大したものの、本年４月実施の薬価改定による減収要因を補うには至らず、売上高は209億６百万円（前年同期比7.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、売上総利益の減少や開発テーマの進展に伴う研究開発費の増加等から、25億６千１百万円（前年同期比15.8%減）と減益となりました。

②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、動物用医薬品事業の売上は増加したものの、同事業の販売費及び一般管理費の増加等により、売上高25億７千１百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益９千１百万円（前年同期比4.7%減）と増収減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ166億１百万円増加し、828億３千６百万円となりました。これは主に無形固定資産仮勘定および受取手形及び売掛金が増加したためであります。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ153億７千７百万円増加し、390億５千２百万円となりました。これは、長期借入金および短期借入金等が増加したためであります。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億２千３百万円増加し、437億８千３百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から11.4ポイント低下し52.9%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ１億３千５百万円減少し、102億１千万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、５億９百万円（前年同期は７億２百万円の減少）となりました。これは減価償却費の計上および仕入債務は増加しましたが、売上債権が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、138億９千３百万円（前年同期は３億７千８百万円の減少）となりました。これは有価証券の償還はありましたが、主に無形固定資産および有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、142億６千７百万円（前年同期は５億７千万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の実行によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では、平成30年５月11日公表の「平成30年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。現在、当第２四半期連結累計期間の業績を踏まえ、今後の見通しを精査中であり、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成30年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成30年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,221	10,085
受取手形及び売掛金	10,400	12,505
商品及び製品	6,810	7,855
仕掛品	479	504
原材料及び貯蔵品	4,579	4,195
その他	2,327	2,273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	34,818	37,419
固定資産		
有形固定資産	12,129	13,399
無形固定資産		
無形固定資産仮勘定	25	12,946
その他	3,334	3,090
無形固定資産合計	3,359	16,037
投資その他の資産		
投資有価証券	11,747	12,075
その他	4,204	3,928
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	15,927	15,979
固定資産合計	31,416	45,416
資産合計	66,235	82,836
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,218	6,339
短期借入金	1,200	3,450
賞与引当金	1,073	1,005
その他の引当金	338	385
その他	6,384	6,179
流動負債合計	14,214	17,360
固定負債		
長期借入金	1,750	14,025
その他の引当金	1,085	820
退職給付に係る負債	6,586	6,535
その他	39	311
固定負債合計	9,460	21,692
負債合計	23,675	39,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	864
利益剰余金	39,280	39,827
自己株式	△2,278	△2,234
株主資本合計	39,052	39,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,657	4,225
退職給付に係る調整累計額	△149	△96
その他の包括利益累計額合計	3,507	4,128
純資産合計	42,559	43,783
負債純資産合計	66,235	82,836

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成30年４月１日 至　平成30年９月30日）
売上高	25,054	23,477
売上原価	15,231	14,026
売上総利益	9,822	9,450
返品調整引当金繰入額	△0	4
差引売上総利益	9,822	9,446
販売費及び一般管理費	7,949	8,486
営業利益	1,872	960
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	102	123
不動産賃貸料	66	66
その他	34	42
営業外収益合計	204	232
営業外費用		
支払利息	7	15
為替差損	5	23
不動産賃貸費用	59	57
その他	10	19
営業外費用合計	83	114
経常利益	1,993	1,078
特別損失		
ライセンス契約金償却	－	203
特別損失合計	－	203
税金等調整前四半期純利益	1,993	874
法人税、住民税及び事業税	297	209
法人税等調整額	53	△79
法人税等合計	350	130
四半期純利益	1,643	743
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,643	743

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成30年４月１日 至　平成30年９月30日）
四半期純利益	1,643	743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	896	568
退職給付に係る調整額	20	53
その他の包括利益合計	916	621
四半期包括利益	2,559	1,364
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,559	1,364

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成30年４月１日 至　平成30年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,993	874
減価償却費	1,142	1,159
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△63	3
受取利息及び受取配当金	△103	△123
支払利息	7	15
ライセンス契約金償却	－	203
売上債権の増減額（△は増加）	△1,475	△2,105
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,223	△686
仕入債務の増減額（△は減少）	510	1,119
未払消費税等の増減額（△は減少）	△663	△476
その他の負債の増減額（△は減少）	490	△837
その他	89	△104
小計	706	△958
利息及び配当金の受取額	103	123
利息の支払額	△6	△9
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,504	335
営業活動によるキャッシュ・フロー	△702	△509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△300	－
有価証券の償還による収入	500	1,000
投資有価証券の取得による支出	△51	△10
投資有価証券の売却による収入	10	500
有形固定資産の取得による支出	△316	△1,529
無形固定資産の取得による支出	△269	△13,332
その他	48	△521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378	△13,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	14,900
長期借入金の返済による支出	△375	△375
配当金の支払額	△195	△197
その他	－	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△570	14,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,651	△135
現金及び現金同等物の期首残高	14,761	10,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,110	10,210

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年２月16日）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成29年４月１日 至平成29年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	22,705	2,348	25,054	－	25,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	24	24	△24	－
計	22,705	2,372	25,078	△24	25,054
セグメント利益	3,040	96	3,137	△1,264	1,872

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

（注）２　セグメント利益の調整額△1,264百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注）３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成30年４月１日 至平成30年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	20,906	2,571	23,477	－	23,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	24	24	△24	－
計	20,906	2,595	23,501	△24	23,477
セグメント利益	2,561	91	2,652	△1,692	960

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

（注）２　セグメント利益の調整額△1,692百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注）３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．補足情報

（１）主力品の売上高

主　力　品　の　売　上　高
（平成３１年３月期　第２四半期実績）

（単位:億円）

品目名		前期 平成30年3月期		当期 平成31年3月期		対前年同四半期増減率（%）
		第2四半期実績	年間実績	第2四半期実績	年間見込	
高血圧症治療剤	カンデサルタン※	68.4	132.3	60.8	117.3	△ 11.2
甲状腺ホルモン剤	チラーヂン	26.3	49.1	30.1	55.2	14.4
LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤	リュープロレリン	20.7	41.6	20.8	45.4	0.3
難吸収性リファマイシン系抗菌薬	リフキシマ	3.3	10.6	11.8	29.4	253.6
高脂血症治療剤	リピディル	22.7	42.9	11.2	33.8	△ 50.7
高血圧症治療剤	アムロジピン	8.4	16.2	7.0	13.7	△ 16.0
緊急避妊剤	ノルレボ	6.2	12.1	6.6	12.6	5.9
前立腺癌治療剤	ビカルタミド	8.5	15.8	6.2	11.7	△ 27.2
抗甲状腺剤	メルカゾール	5.7	11.0	6.0	11.5	5.9
経皮吸収卵胞・黄体ホルモン製剤	メノエイドコンビパッチ	3.6	7.4	4.4	6.7	23.7

※ カンデサルタン配合剤を含む

（２）臨床開発状況

臨　床　開　発　状　況

（平成30年11月現在）

平成30年11月５日
あすか製薬株式会社
東証市場第一部
コード番号　4514

区　分	(開発番号)　一 般 名	領 域・効 能	備　考
申請準備中	(AKP-015)　レボチロキシンナトリウム	粘液水腫性昏睡 重症甲状腺機能低下症	SERB,SA(ベルギー)より導入
PhaseⅢ	(CDB-2914)　ウリプリスタル	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
Phase Ⅰ	(AKP-501)　フォリトロピンガンマ	不妊症	JCRファーマ㈱からの導入および 共同開発
Phase Ⅰ	(L-105)　リファキシミン	クローン病	Alfasigma S.p.A.(イタリア)より 導入
Phase Ⅰ	(AKP-009)　未定	前立腺肥大症	自社開発